

12 「園芸に取り組む女性農業者」の現状と課題

- 園芸に取り組む女性農業者の生産活動の現状や女性が営農を継続するための課題共有をすることで、今後の女性の就農や営農継続に係る施策促進に繋げる。

○ きっかけ

米中心の営農から、より収益性の高い園芸作物への転換の必要性が高まっている中、夫婦等の家族経営協定締結の進む敦賀市において、営農の重要な担い手である女性農業者に焦点を当て、露地及び施設で園芸作物を栽培している女性農業者を対象に取り組みを行った。

○ 取組の概要

敦賀市内において、農業者、国、県及び関係団体が一堂に会した懇談会を開催し、地元の園芸に取り組む女性農業者の生産活動での現状や、女性が営農を継続するための課題等について意見交換を行った。



令和3年12月16日 敦賀市内での意見交換の様子

○ 懇談会での意見・要望など

- ・ 機械作業や力仕事は、女性だけの営農において課題だと思う。
- ・ 直売所に出荷しているが、集荷時期がほかの農業者と重なりがち。売上向上のため栽培時期をずらす等するが苦心している。6次化にむけて加工所を整備したので、今後は加工にも力を入れていきたい。
- ・ 女性登用について、集落の役員等が回ってきたときにその内容で夫婦どちらがするか等工夫している。
- ・ 農業は、会社勤めよりは時間の融通が利く。子育てや介護のある女性にとっては、周りの協力は不可欠だが、家庭の事情があっても継続しやすい業種なのではと思う。
- ・ 母と二人で営農しており、労働力不足解消のため、今後、農福連携に取り組み、効率化を図りたい。
- ・ 参加した農業者同士のつながりがあまりなかったことから、情報交換のきっかけとなった。